

みさと 福祉だより

第29号

平成23年
10月14日

編集発行

社会福祉法人 美郷町社会福祉協議会
☎0187-85-2294 ㊟0187-85-2291
印刷・株式会社アイ・クリエイト



～秋田県共同募金会ポスターより～

赤い羽根共同募金運動展開中

今年も10月1日から赤い羽根共同募金運動がスタートしました。

赤い羽根共同募金は、高齢者、障害者、子どもたちなどへの地域の福祉活動を支援する募金です。また、災害時には「災害ボランティアセンター」の設置や運営など、被災地支援にも役立っています。

(詳しくは2面)

※「この広報は赤い羽根共同募金の配分金と社協会費が使われています。」

赤い羽根募金運動展開中!

今年も全国統一スローガン「地域の福祉、みんなで参加」のもと、10月1日から共同募金運動がスタートしました。

町民の皆さまからは毎年温かいご支援とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

今年度集まった募金は来年度、左記の事業に活用します。

目安額は強制的な

割当ではありません

毎年皆さまにお願いしている戸別募金では、世帯あたり千円以上という目安額を示していますが、これはあくまでも目標達成のための目安額であって、強制的な割当ではないことを十分にご理解願います。

募金の使い道 (目標額6,866,000円)

◆寝たきり者の出張理容補助に……	236,000円
◆高齢者世帯の防火点検に……	10,000円
◆学校への福祉教育助成金に……	734,000円
◆单身老人の日帰り旅行に……	339,000円
◆福祉団体の助成に……	410,000円
◆災害ボランティア事業に……	397,000円
◆ボランティアの育成に……	55,000円
◆社会福祉大会の開催に……	663,000円
◆地域福祉座談会の開催に……	250,000円
◆総合相談事業に……	341,000円
◆トータルケア推進事業に……	301,000円
◆空き店舗活用事業に……	650,000円
◆おたすけマン事業に……	38,000円
◆広報の発行に……	690,000円
◆秋田県全体の地域福祉を推進 するための活動に……	1,752,000円
(災害緊急見舞金・福祉車両整備に係る助成など)	

地域で集めた募金は

地域で使われます

美郷町で集まった募金の約8割は美郷町で使われます。残りの2割は秋田県内の災害見舞金や県内施設への助成、募金資材や啓発活動などに充てられ、秋田県全体で使われるお金です。

また、各都道府県の共同募金会では、募金額の一部を『災害等準備金』として積み立て、東日本大震災のような大規模災害が起こった際に災害ボランティア活動支援など、被災地を応援するためにも使われています。



今年度も一層のご協力を賜りますよう、伏してお願ひ申し上げます。



共同募金配分金

事業の紹介

「出張理容補助券の発行」

美郷町社会福祉協議会では、寝たきりの方の衛生保持と在宅介護の支援を図るため、出張理容補助券を発行しています。

この事業は、出張理容を利用した際に料金の一部として補助券を利用できるもので、財源には町民の皆さまからいただいた共同募金の配分金が使われています。



澁谷理容(駅前)の澁谷久一さんから自宅で散髪してもらう藤井清志さん(天神堂)



社会福祉大会を開催しました

9月1日、美郷町公民館で第8回美郷町社会福祉大会を開催し、住民や関係者などを含め、約350人が参加しました。



サンワーク六郷利用者による合唱

開会セレモニーとして「サンワーク六郷」利用者による秋田県民歌の合唱が行われました。

式典では、永年にわたり社会福祉活動に貢献のあった14個人1団体に表彰状、19個人に感謝状を贈呈し、秋田県共同募金会より1個人5団体へ表彰状、7団体へ感謝状が伝達されました。

受賞された皆さんは下記のとおりです。式典後は美郷社協職員による大船渡市災害ボランティア活動報告と仙南中学校、千畑中学校生徒による福祉事例発表が行われました。

最後は歌と踊りのアトラクションで今年の福祉大会は幕を閉じました。

たくさんのご来場ありがとうございました。



仙南中学校、千畑中学校生徒による福祉事例発表

第8回 美郷町社会福祉大会受賞者の皆さん

※敬称略

◆美郷町社会福祉協議会会長表彰状

受賞区分	地 区	氏 名
善行・奉仕活動	千 畑	おはなしの会 「しゃぼんだま」
	千 畑	武 藤 レイ子
	六 郷	松 栄 知 子
	六 郷	三 輪 千 恵 子
	六 郷	栗 林 久 美 子
	六 郷	戸 田 佳 代 子
	六 郷	中 村 貞 子
	六 郷	小 松 正 治
福 祉 団 体 (個 人)	美郷町更生保護女性の会	高 橋 勳 子
	美郷町身体障害者協会	深 澤 勇 光
	美郷町身体障害者協会	佐 藤 芳 弘
	美郷町身体障害者協会	淡 路 秀 輔
永年勤続職員		村 田 剛
		加 藤 まさ子
		渋谷 好 美

◆美郷町社会福祉協議会会長感謝状

受賞区分	地 区	氏 名
退 任 理 事	仙 南	高 橋 恒 二
退任福祉委員	仙 南	小 川 新 一
退任民生児童委員	千 畑	鈴 木 喜 美 夫
	千 畑	太 田 慶 子
	六 郷	高 橋 久 美 子
	六 郷	亀 谷 美 枝 子
	六 郷	田 口 サ ツ
	六 郷	高 橋 テ イ
	六 郷	田 口 梅 夫
	六 郷	相 馬 俊 廣
	六 郷	伊 藤 泰 子
	六 郷	畠 山 カ ツ 子
	仙 南	中 田 宏 明
	仙 南	照 井 忠 夫
高 額 寄 付 者	仙 南	木 下 信 隆
	千 畑	煙 山 重 幸
	千 畑	高 橋 秀 雄
	六 郷	亀 谷 武 彦
	六 郷	岡 田 登

◆秋田県共同募金会会長表彰状（伝達）

受賞区分	地 区	氏 名
奉仕団体功労	仙 南	美郷町立仙南西小学校
高 額 寄 付 者	六 郷	あ っ た か 山
	六 郷	コ ニ シ 理 容
	六 郷	照 榮 寺
	仙 南	株式会社小貫建設
役職員功労者		板 谷 智 子

◆秋田県共同募金会会長感謝状（伝達）

受賞区分	地 区	氏 名
高 額 寄 付 者	六 郷	合資会社深澤商店
	千 畑	有限会社沢野自動車整備工場
	千 畑	高 山 齒 科 医 院
	千 畑	ヤマザキデイリーストアー千畑店
	六 郷	六 郷 金 融 懇 談 会
	六 郷	六郷小型貨物自動車運送株式会社
	六 郷	六郷まちづくり株式会社

地域福祉座談会開催のお知らせ

今年も『誰もが安心して暮らせる地域(まち)づくり』をテーマに、地域福祉座談会を開催します。
対象地区以外の方も最寄の会館へ参加できますので、お誘い合わせのうえ多数の参加をお待ちしています。

社協が行っている事業や、
地域で抱えている問題について
一緒に話し合ってみませんか？



◎地域福祉座談会日程

月 日	曜日	地区	対 象 地 区 (会館)	
			午 前	午 後
			9 : 30 ~ 11 : 30	1 : 30 ~ 3 : 30
10月24日	月	千畑	千屋北部会館	千屋中部会館
		六郷	大島会館	杉の子会館
10月25日	火	千畑	千屋南部会館	小荒川会館
		仙南	本田会館	熊堂総合センター
10月26日	水	千畑	長面会館	厨川会館
		六郷		下本道会館
10月27日	木	千畑	県道筋会館	城回会館
		仙南	万願寺会館	町田会館
10月28日	金	千畑	馬場添会館	黒沢会館
		六郷	上鑓田会館	六郷交流促進センター
10月31日	月	千畑	善知鳥会館	第一暁会館
		仙南	中島藤原生活総合センター	橋本会館
11月1日	火	千畑	第二暁会館	下畑屋会館
		仙南	鶴水会館	佐野会館
11月2日	水	千畑	安城寺会館	中野会館
		仙南	中関会館	金沢谷地中会館
11月4日	金	千畑	大畑会館	大柳会館
		六郷	雀柳会館	北部寿会館
11月7日	月	六郷	明田地会館	作山児童館
		仙南	米ノ口会館	寺田会館
11月8日	火	六郷	西琴児童館	

秋田県シルバー人材センター連合会 シニアワーク技能講習を開催 ～美郷町介護事業所職員が講師として参加～

秋田県シルバー人材センター連合会では、厚生労働省秋田労働局の委託を受け、シニアワークプログラム地域事業として、55歳以上の方の就職・就業機会の促進を支援するため、様々な技能講習を実施しています。8月下旬の8日間計40時間の日程で、その内容は一般家庭を中心とした清掃業務全般、高齢者の栄養と食生活、障子の張り替え、建具の調整等の基礎的な地域と技能の習得等多岐にわたっています。



午前中の寸劇の様子。
迫真の演技に皆さん拍手喝采！

午前の講義および寸劇を担当した美郷町介護事業所スタッフ。(左から、小西、加賀谷、渋谷、戸沢)



その中で8月30日(火)の「生活・家事支援講習」のプログラムについての講師を美郷町介護事業所職員が担当しました。

午前中の「在宅訪問マナーの基本、高齢者とのコミュニケーションのとり方」では、(講師 美郷町介護事業所 介護福祉士 小西蓉子) 介護保険制度の内容や申請の仕方も加え、認知症高齢者の接し方等美郷町介護事業所職員による寸劇を交えての講義内容となり、受講生の皆さんからとても分かりやすいと好評でした。午後の「家庭介助の基本と演習」(講師 美郷町介護事業所 介護福祉士 佐藤 幸、東海林光子)では衣類の着脱やシーツ交換のやり方、移乗介助等の実技でしたが、予定になかった内容を受講生からリクエストされ急きょ追加したり、また積極的にどんどん質問も出され、終始和やかな雰囲気が進み、受講生の意欲が強く感じられた講習会になりました。



午後の実技は和気あいあいとした雰囲気の中で。

グループホーム
やすらぎの家
AED 認知症なんでも相談所
介護付有料老人ホーム
ライフケア **そよかせ** 介護(認知症)にお困りの方、お気軽にご連絡ください。
TEL.0187-84-1750
美郷町畑屋字狐塚213-1
(有)若竹 TEL.0187-84-2887

どこに仕事を頼んだら良いかお困りではありませんか？

- ・一般のご家庭で、四季を通じた生活の手助けに
 - ・農作業など、ちょっと人手が足りない時に
- 等々

**シルバー人材センターを
お気軽にご利用下さい**

■お問い合わせは
美郷町シルバー人材センターへ
【電話0187-84-0307】



美郷老連だより③

六郷老人クラブ交通安全教室終わる

去る7月22日に第2回若水大
学が開催され、参加者は36名で
した。中身としては、普段から
高齢者が気をつけなければなら
ない振り込め詐欺の防止策、酒
酔い状態の歩行体験、道路横断
の留意点、自転車運転の安全、
シートベルト装着時の安全確
認、車の安全運転操作等大事な
ことを講話と実地訓練で知るこ
とができました。普段の安全運
転がどのくらい身についている
か点数で結果が出るため参加者
は一喜一憂。とても和やかな雰
囲気で行われました。

参加者から一言（今回の若水
大学「交通安全教室」はこれま
でに全く充実した有意義な教室
でした。講師のお話やアドバイ
ザーの説明・寸劇はとてもわか
りやすく参考になりました。ま
た、シートベルトコンデンサー
や交通安全教育車による運転適
性診断などは新鮮で貴重な体験



交通安全教育車を使って運転適性診断をしている様子

でした。交通事故など自分は大
丈夫だと思っていました、こ
れからはより慎重に行動しよ
うと感じました。ありがとうございました。〓米町長生会 熊谷
徳

今回は大曲警察署交通課から
9名のスタッフと日本自動車連
盟秋田支部から1名の計10名に
よるきめ細かな講習会になりま
した。

歳末チャリティーバザー開催のお知らせとバザー品供出のお願い

今年の歳末チャリティーバザーは12月4日(日)、保健セン
ター(六郷)で開催する予定です。開催に向け、ご家庭で眠っ
ている品で商品価値のあるものがありましたらぜひご寄贈を
お願いします。

これは、歳末たすけあい運動の一環として毎年12月に開催
しているもので、バザーの売上金は要援護世帯の方々があた
たかい正月を迎えられるように義援金として配分されます。

供出品の取りまとめや開催内容など、詳細につきましては
再度チラシを通じてお知らせします。

昨年のバザーでは465,855円もの売
り上げになりました

高齢者実態把握

調査のお願い

社協では、町からの委託を受け
『高齢者実態把握調査』を随時実
施しています。これは、地域の実
情に合わせた支援を適切に行っ
ていくようにする、介護予防事業
のための調査です。

調査員(社協職員)が伺った際
はご協力よろしくお願いします。
(身体状況や家族構成などの簡単
な聞き取りをさせていただく程度
で、特に難しいものではありません)
なお、調査で得た個人情報
は厳重に管理し、目的以外に使用
することはありません。

福祉センター西側入口 を利用される方へ

西側入口(県道角六線側)をご
利用の際は職員駐車場を経由しま
すが、駐車場内
の順路が分かり
にくいので、ま
た、場内の事故
防止の目的も兼
ねて案内矢印を
引きました。





六郷高校福祉科通信

秋冷が気持ちよく感じられる季節となりました。

本校では、前期の定期考査が終了し三日間の秋休みを終え、十月三日(月)から新学期が始まりました。十月は学校行事が多く、私たちは大忙しです。

二十九日(土)は、学校祭「笹竹祭」です。今年のテーマは「七色(にじいろ)〜一人の力はみんなの力〜」生徒一人ひとりが取り組めるよう、今年は大幅に中身を見直し、生徒会が中心となって準備を進めています。

もちろん、福祉科は「福祉科展」を開催します。二年生福祉科はステージ発表で楽しい劇を演じる予定です。役者揃いのクラスですので、楽しみにしてください。どうぞ、皆さままでお越しくください。

【福祉科二年生施設分散実習開始】

二年生は、十月から行事を除く毎水・木曜日の二日間分散実習が始ります。夏休み中、八月一日から五日まで集中実習を行いました。この五日間は「介護の仕事を見て知る」だけでしたが、これからは実際に「介護」という仕事を覚えていかなければなりません。専門的・実践的な実習となります。将来介護福祉士として働く自分を目標に、頑張りたいと思います。

介護福祉士国家試験模擬試験

福祉科2・3年生が一緒に模擬試験を行いました。難しい問題に、みんな真剣です。



【最近の学校の様子】

◇九月三日(土)福祉部十四名が「チビッ子フェスティバル」へ参加しました。今年は進行役として三年生三名も手伝ってくれました。当日は、台風が近づき心配しましたが、見事な晴天。やる気満々で会場に向かいました。私たちが担当する「高校生と遊ぼう」コーナーの「コースター」作りは毎年大人気です。昨年は材料が足りなくなり、ちびっ子に残念な思いをさせてしまったので今年は準備を万端整えました。気温も高かったせいか、会場も活気に満ちて大変盛り上がりました。思い通りに作品が出来上がるとチビッ子たちから歓声が上がリ、さっそくバックに付けて喜んでいました。



◇十月三日(月)から六日(木)まで二年生が三泊四日の日程で「韓国への修学旅行」へ出発します。二年生の教室は旅行の準備やおみやげ話で賑やかです。

◇十月十二日(水)中学生への体験入学が行われます。介護福祉士国家試験模擬試験「福祉」の希望者に、福祉科三年生が中心となって福祉科二・三年生と一緒に模擬試験を行い指導する予定です。福祉科に関心を持ってもらえるように当日担当する三年生はその準備に一生懸命です。

◇十月二十日(木)「美郷町更生保護女性の会」の方約二十五名が本校で一緒に介護体験を行います。七月には校門で朝の挨拶と共に優しく声を掛けてくださいました。地域の方にさまざまなことを教えていただきながら今後に活かしていきたいと思います。

【施設実習を終えて 3年生】

施設実習を通して学んだことがたくさんありますが、特に勉強になったことは他職種との連携の大切さです。介護職は一人では何もできない仕事だと一番最初に教わりました。連絡・報告・相談が成り立つてこそ仕事の意味があるということ、介護福祉士は常に利用者の立場に立ち敬う気持ちを忘れずに接することを学びました。さらに、職員同士が仲良く笑顔で楽しい職場にすることが利用者も安心できることを知りました。いつでも家庭にいるような安心感があるだけで場は和み、たくさんの笑顔が見られるとお聞きし、福祉の仕事に対する不安はなくなり、将来介護福祉士として携わっていこうと気持ちを強くしました。

(高橋 知佳)

実習が始まった頃の私は、実際に施設で本格的な介護をすることに、不安や緊張がありました。大きな声を出したり、笑顔で利用者の方に接することもなかなかできませんでした。そのため、利用者さんにも不安を与え不快な気持ちにさせてしまったと思います。しかし、失敗する度に実習指導者や職員の方が親切に指導してくださり、技術面の向上につながることでできました。私が一番苦手だったコミュニケーションも、職員の方々を見習い、笑顔で関わっていくことで、今では自然に声が出てコミュニケーションを取れるようになりました。この二年間の実習を通して、自分を大きく成長させることができました。

(伊藤末那子)



一輪車やスコップなどの資材を運び出す社協職員とボランティア。

被災地復興支援 活動報告

東日本大震災の被災地である岩手県大船渡市への派遣要請は、4月から定期的にあり、美郷町社協からは第5班（9月5日～9月10日）として職員3名を派遣しました。

震災から半年経った今、4月の第1班の派遣時と比べると道路のガレキもだいぶ片付けられ、復興に向けて少しずつ前進しているのが実感できます。

被災者のニーズ（要望や必要としていること）も被災直後とは変わってきており、避難所から仮設住宅への引っ越し手伝いや側溝の泥上げなども多くなっています。

「全国災害たすけあい」として秋田県共同募金会と連携しながら行っていた義援金の受付期間は9月30日まででしたが、翌年3月31日まで延長されることになりました。

美郷町共同募金会へもたくさんのお礼申し上げますとともに、今後も被災地の復興の一助とするため、ご協力よろしくお願いします。



側溝の泥上げをする学生ボランティア。魚介類の死がいなどによる悪臭もかなり強く、大変な作業です。

また、9月は関東や西日本で台風の影響が発生し、大船渡からそちらに支援物資を送ったりしたため、ボランティア活動用の長靴やスコップなどが不足するという事態にもなりました。今後要請があれば支援を行っていく予定です。

善意

（平成23年8月1日～）

9月30日受付分）

※受付順

■物品寄付

後三年

高橋 千枝様

羽貫谷地

渡辺 明様

佐野 キツカワ宅配サービス様

（乳製品・飲料）

秋田市

北日本コンピュータサービス（車椅子）



北日本コンピュータサービス様東北支社様からは車椅子を寄贈していただきました。有効に活用させていただきます。

寄付をしていただいた場合、忌明け・快気祝い等のハガキを無料で作成しますので、必要な方はお申し付けください。

■一般寄付

六郷婦人会会長

岩田 貞様

旭町

亀谷美枝子様

野中

杏 授 苑様

秋田建築労働組合大曲支部

支部長

須田 鐵美様

■香典返し

羽貫谷地

渡辺 明様

本堂中部

太田 郁夫様

紀の国

高橋 邦武様

石神

加藤 章様

※このほか、匿名での一般寄付もいただいています。

以上の方々より当協議会に善意の金品をいただきました。ご厚意に対し、心からお礼申し上げます。

編集後記

台風15号が猛威を奮った彼岸入り。それまでの夏の空気が一気に秋の匂いになりました。「暑さ寒さも彼岸まで」とはよく言うものですが、古人の言は実によく的を射ています。

秋といえば実りの季節。稲刈りもこの号が出る頃には落ち着いているでしょうか。社協にとっては社会福祉大会や地域福祉座談会、赤い羽根共同募金運動など、大きなイベントがあり、何かと慌ただしい時期です。

次号の発行は12月15日を予定しています。

H・D

みさと福祉センター

〒019-1541

秋田県仙北郡美郷町土崎字上野乙6番地1



社会福祉法人 美郷町社会福祉協議会

TEL0187(85)2294(代)
senfuku@obako.or.jp

FAX0187(85)2291

美郷町介護事業所

TEL0187(87)6128(代)

FAX0187(87)6680